

施策分析シート（平成23年度）

No1

施策名	高齢者の在宅生活の支援	施策No	02-03	部課名	福祉部高齢者福祉課		
関連部課名		課長名	伊藤節子	内線	2660		
行政評価事業体系	分野	生涯健康都市[]					
	政策	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成[02]					
目的	高齢者の在宅生活を支援するために重要でありながら介護保険制度の対象とはなっていないさまざまなサービスを提供することにより、介護・支援を必要とする高齢者等が、住み慣れた地域の中で安全に安心して住み続けられることを目的とする。						
指 標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (28年度)	
	総合相談窓口相談件数	8,320	7,565	7,966	8,000	-	おとしよりなんでも相談
	高齢者見守りネットワーク事業登録者数	3,804	3,914	3,768	4,455	5,000	
	虐待の相談件数	56 (43)	76 (74)	98 (75)	130 (103)	-	()内は虐待受理件数
高齢者入浴事業利用率	15.6%	17.3%	17.7%	20.0%	25%	利用者数/70歳以上高齢者人口	
現状と課題（指標分析）	高齢者実態調査等によると自宅で介護を受けることを望む高齢者の割合が高く、多くの高齢者が在宅生活を希望している。 高齢者が住み慣れた地域の中で安全に安心して生活を続けられるよう、地域資源を活用して、高齢者の安否確認や見守りを充実していくことが必要である。 ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯が増加しているとともに、核家族化が進展している。区の事業を活用していない、また知らない高齢者という高齢者がいないように、周知の方法を検討する必要がある。 高齢者に対する虐待に関する相談・通報が増加している。その内容についても、深刻な事例や対応に長期間を要するものが目立つようになっているため、専門的に対応する体制を強化する必要がある。						
今後の方向性	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》 ○高齢者みまもりステーションを拠点として、高齢者を見守るための地域のネットワークを構築し、地域包括支援センター、民生委員等、地域や関係機関と連携して高齢者を地域で支えていくことを積極的に取り組んでゆく。 高齢者が希望する見守り事業を適切に実施できるように、周知方法の強化を図っていく。 高齢者に対する虐待を予防・防止するため、弁護士や臨床心理士等とも協力し、高齢者緊急医療保護や成年後見制度の活用、法的課題への対応に引き続き取り組んでいく。また、高齢者虐待を早期に発見し事態の深刻化を防止するため、虐待についての区民の理解を深めるための普及啓発にも努める。						

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	重点的に推進	在宅で生活している高齢者やその家族の実態の把握に努め、それぞれのニーズに対応した施策を展開していくとともに、住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現を図っていく。

施策分析シート（平成23年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		21年度	22年度	前年度 設定	今年度 設定	
高齢者住み替え家賃等助成事業	06-03-07	3	520	重点的に推進	継続	高齢者の住環境の向上を図る
高齢者民間住宅入居支援事業	06-03-08	20	0	推進	継続	高齢者が住みなれた地域で住み続けられるよう、事業の周知を図る
社会福祉協議会補助（長寿慶祝の会）	06-03-09	2,917	3,061	継続	改善・見直し	一部経費の見直しをし、執行する
理美容サービス事業	06-03-10	1,909	1,912	継続	継続	必要とする高齢者に適切に事業を活用してもらうよう、周知を行う
高齢者紙おむつ購入助成事業	06-03-11	88,284	94,524	継続	継続	高齢者が利用しやすいように、事業の仕組みを検討する
高齢者住宅改修給付事業	06-03-12	27,203	30,525	推進	推進	介護予防制度との整合性を図りながら、高齢者の在宅生活の支援を図る
寝たきり高齢者寝具水洗乾燥消毒事業	06-03-13	251	147	継続	継続	利用者が減少しているため、事業の仕組みを検討する
通所サービス利用者負担軽減事業	06-03-14	12,620	14,021	継続	継続	23年度で経過措置が終了するため、事業の存続について検討を要する
ひと声運動事業	06-03-15	183	194	推進	改善・見直し	高齢者みまもりネットワーク事業（ネットワーク）に統合
ふれあい入浴事業	06-03-16	14,590	13,609	継続	継続	高齢者の見守りツールに位置づけ、高齢者の見守りの強化を図る
高齢者入浴事業	06-03-17	39,434	43,003	重点的に推進	重点的に推進	高齢者の閉じこもり防止や交流促進を促すため、周知するとともに利用率の向上を図る
緊急通報システム事業	06-03-18	18,127	17,839	推進	重点的に推進	ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯の安全を守り、不安感を軽減させるために充実を図る
火災安全システム事業	06-03-19	594	749	継続	休止・完了	民間システムに移行したため、廃止する
交通安全杖支給事業	06-03-20	158	210	継続	継続	高齢者が安全に外出できるよう支援する
軽度要介護者等寝台賃借料補助事業	06-03-21	200	152	継続	継続	新規申請は20年度までで中止し、賃借料補助は経過措置が終了するため、検討する
高齢者マッサージ事業（在宅介護者マッサージ事業）	06-03-22	1,581	1,770	継続	継続	利用者が選択できるように利用店舗数の拡大を検討する
高齢者みまもりステーション運営事業	06-03-23	-	-	-	重点的に推進	高齢者の安否を把握するとともに、地域で高齢者を見守る拠点となるよう推進する
高齢者みまもりネットワーク事業（ネットワーク）	06-03-24	2,968	24	重点的に推進	重点的に推進	高齢者の実態を把握し、地域で見守る仕組みを構築する
高齢者みまもりネットワーク事業（救急医療情報キット配布事業）	06-03-25	-	1,587	重点的に推進	重点的に推進	救急医療情報キットの適切な管理を指導し、事業の実効性を高めていく
敬老週間事業	06-03-26	19,290	20,066	継続	継続	高齢者の長寿を祝うとともに、実態を把握し適切に実施する
高齢者総合相談窓口	06-03-27	1,483	1,431	推進	継続	高齢者等が抱える様々な相談を一元的に対応できるよう総合的な相談窓口を運営する

施策分析シート（平成23年度）

No3

施策を構成する事務事業の優先度						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		20年度	21年度	前年度 設定	今年度 設定	
養護老人ホーム措置	06-03-28	186,096	175,327	継続	継続	法定措置事務ではあるが、事業の必要性を考慮し、引き続き実施する
特別養護老人ホーム （措置分）	06-03-29	865	947	継続	継続	法定措置事務ではあるが、事業の必要性を考慮し、引き続き実施する
介護サービス事業 （措置分）	06-03-30	477	1,301	継続	継続	高齢者を保護するための緊急措置として実施する
高齢者生活管理指導事業	06-03-31	495	351	継続	継続	高齢者の権利を擁護するため実施する
緊急事務管理事業	06-03-32	2,566	2,582	推進	推進	認知症高齢者の増加など公的な支援が必要な高齢者が安心して暮らすために実施する
高齢者虐待対策事業	06-03-33	4,852	5,258	重点的に推進	重点的に推進	高齢者の虐待防止のために、個々の事例研究を進め、早期発見及び相談・支援の充実を図る
成年後見事業	06-03-34	128	806	推進	推進	社会福祉協議会と法人後見のさらなる活用を図りながら、円滑かつ迅速な制度運営を図る
特養ホーム入所希望者 実態調査	06-03-35	48	48	継続	継続	公正かつ客観的な基準に基づく入所調整を行うとともに、緊急性の高い特養待機者が迅速に入所できる制度とする
訪問指導事業	06-03-36	15,496	15,078	推進	推進	療養環境の整備により、地域の介護力の育成を図る
特別永住者等福祉給付金	06-03-37	-	1,800	推進	推進	新規事業であり、事業の周知を図るとともに、対象者の把握に努める
高齢者配食見守り サービス事業	06-03-38	7,319	6,598	継続	推進	低栄養予防や見守りが必要な高齢者の在宅生活を支援するため推進する
合 計		450,157	455,440			